きらく荘　グループホーム　林　康彦

　　～自分の経験を活かして～

昨年9月の施設内異動に伴い、グループホームの部会長を拝命しました。何をどうして進めて良いか分からず、不安な日々でした。部会長を引き受ける際に悩みましたが、学生時代に野球で鍛えられた「気合いと根性」で自分を奮い立たせました。今となっては、部会長を引き受けて後悔はありません。前部会長に分からない点を訊ね、アドバイス頂きながら物事を少しずつ進める手順を学ぶことで、少しずつ心が休まります。

テレビやラジオから流れてくる災害や大事故の情報に、時折胸が痛くなる日もあります。そんな中、今も町の復旧に立ち上がり、支えている方々がいます。また様々な分野で頑張っている方々もいます。私も自分に出来ることを小さなことから「気合と根性」で頑張り、人と人との絆を大事に、毎日を過ごしていきたいと考えています。